



現在の小野幌小学校校舎

厚別東地域

～小野幌小学校～

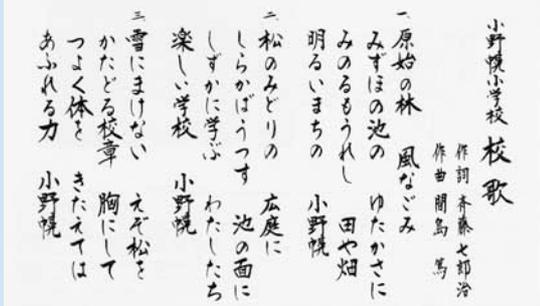
今 厚別東地域は、西は野津幌川、東は野幌森林公園、北はJR函館本線、南は南郷通に囲まれています。昭和57年の地下鉄東西線新さっぽろ駅までの延長を機に、新興住宅地として飛躍的に発展してきました。

小野幌という名は、地名や神社、公園、会館などに残っています。厚別東2条4丁目にある小野幌小学校は、明治32年に「小野幌簡易教育所」として開校した、厚別区で2番目に歴史のある学校です。

昔 明治22年に山口県から秋本榎五郎あきもとつちごが入植して、本格的な開墾が始まりました。森林を開いて炭を焼く傍ら造田に努め、明治25年には水田の試作に成功しました。その後、新たな入植者を迎えて、瑞穂の池も作られ、水田を中心にした豊かな地域になりました。その教育の中心になったのが小野幌小学校です。冬の農閑期には青年団や卒業生も参加し学芸会を行い、地域の娯楽としても利用されていました。

ものがたり 後編

厚別西・厚別東・青葉



校歌は、昭和33年に開校60周年を記念して作られました。校歌を通して、地域の歴史や住民の思いが伝わってきます

郷土室には昔の写真や農機具などが展示されています



明治43年当時の校舎

所在地地図



今月は前編に引き続き北海道の民話を研究している北星学園大学の阿部敏夫教授に執筆いただきました。前編は平成20年2月号に掲載しています。

青葉地域

～青葉緑地～

